

# 社友会だより

## 第 47 号

発行 センツウ社友会

住所 神奈川県横浜市港南区芹が谷 4-27-19

〒233-0006 大和田輝彦 内

編集者 濱田 治

### 年頭にあたって

社友会会長 本田太作

センツウ社友会の皆様 明けましておめでとうございます。

年も改まり皆さんもそれぞれ新たな気持ちで新年をお迎えのこととご同慶にたえません。



昨年中は社友会の運営に格別のご配慮、ご協力を賜り誠に有難く感謝の気持ちでいっぱいです。

世界に目を向けると、IS(イスラム国)が台頭し、パリ同時多発テロが世界を震撼させ、中東やアフリカから欧州に押し寄せる難民の波と、先の見えないシリア情勢に世界の目が注がれております。

一方わが国では、政治面では、国を二分化した安保法制法案の成立、米軍普天間飛行場の辺野古移設計画をめぐる国と沖縄が対立し法廷闘争に発展しております。経済においては、アベノミクスを掲げる第2次安倍内閣の政策は国民の信任を得ることが出来たでしょうか。

社会面では、鬼怒川の氾濫により多くの家屋が流出し、最近では大型マンションが傾き杭の施工データの偽装が発覚したことは記憶に新しい。

本年も相互の親睦に努め、レク活動の活発化及び会員の増強について引続き努力する所存でございます。

何卒、皆様のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

末筆ながら、皆さんにとっても健康で素晴らしい年でありますようお祈りいたしまして、新年のご挨拶とします。

### センツウ同窓の集い 全国で盛大に開催

第7回となる「センツウ同窓の集い」が平成27年11月22日～12月5日に、全国各地に於いて盛大に開催されました。

今年は北海道地区、中・四国地区でも同窓の集いが初開催され、全国7地区160名が参加されました。開催日順に各地の開催模様を紹介します。

#### 中・四国地区

平成27年11月22日13時より坂出市の「せとうち荘」で、中・四国地区の同窓の集いが開催されました。中国地域から9名、四国地域から12名、関東・関西地区から4名の総勢25名が参加され、菊山様の乾杯のご発声で開宴、和やかな歓談の一時を過ごしました。また、家族サービス、体調不良等で今回残念ながら欠席された皆様から温かいメッセージが寄せられご披露されました。中締め時間となり、山口様の締めの挨拶をいただきお開きとなりました。



次回は岡山県か広島県で開催予定としておりますので、是非ご参加ください。



レポーター 氏川満さん

## 東北地区

平成27年11月27日、仙台市青葉区の「茜どき」に東北地区在住のOB、現役総勢14名が参集し同窓の集いが開催されました。

我妻博さんの乾杯のご発声により開宴、一気に宴会に突入し、大いに盛り上がりを見せる中あっという間に中締めとなりました、

この後近くのカラオケに流れ、ここでも大いに盛り上がり記憶をなくすほど飲みました。

また、それでも足りない人たちは塩釜営業所時代の現地のスナックで朝まで歌っていたそうです。

レポーター 本山健勝さん



## 中部地区

平成27年11月28日12時より第7回センツウ同窓の集いを名古屋駅金山ホテル旅籠茶屋「かやかや」にて開催しました。

5月浜名湖温泉旅行以来概ね6ヶ月振りの再会で参加者は過去最大の19名となりました。

冒頭、支部長の挨拶後始めに奥田事務局長より嘉治本さんが逝去されたご冥福をお祈りします旨告げた後、近況報告と、今後の活動計画の発表があり続いて関心の高い厚生年金基金の解散後の状況について説明がありました。

戸田さんの乾杯の音頭で開宴となり、18年振りおよび30年振りの方も参加され再会を喜び合いました。



少々遅れて佐藤ご夫妻が到着した際には大きな拍手が起こり皆さん参加を喜び会いました。お互いに喧騒の極みのように爆笑や積もる話の渦に花が咲き、予定の2時間が瞬時に過ぎてしまいました。

時間が経つのが早いものアツという間にお開きとなり元気で再会を約し散会となりました。



今回栗田さんの喜寿のお祝いを兼ね色紙に各自がお祝の言葉で寄せ書きをし贈呈しました。

レポーター 本田太作さん

## 関西地区

今年の同窓の集いは、12月1日神戸市 JR 三宮駅南側の「神戸国際会館西村屋ダイニング」を会場に選定しました。例年の参加者に欠席事情が多く人数が少なくなりましたが、岡山・金沢の遠方からも参加いただき、また、今年も十数年振りの再会となる参加者を含んだ集いとなりました。

冒頭に上中代表から近況報告を行い、一月前に惜しくも享年68歳の若さで旅立った、嘉治本輝敬さんのご冥福を祈る黙祷をささげました。

改めて、城内さんの乾杯ご発声により「集い」が始まり、季節料理を食べながらここ一年の出来事や現役時の出来事など、話題は次々と尽きることなく時間が過ぎましたが、話題の一つに厚生年金基金の解散に注目度がありました。



料理メニューの終わりの印デザートがテーブルに置かれたところで、川村さんに中締めをお願いして集合写真の準備へ店員の方に撮影をお願いして、1+1=2の掛け声で盛り上がり集合写真を終了、皆さんそれぞれ帰路につきました。



レポーター 富田昌

### 北海道地区

平成27年12月4日、斉藤健三さんの呼びかけにより道内各地からOB、現役合わせて15名が参加して、北海道地区初となる同窓の集いが札幌において開催されました。

猪股典様の乾杯のご発声で開宴し、アルコールと料理で和やかな雰囲気となり、宴半ばでは室蘭、釧路、稚内営業所時代からドコモショップ創成川店、札幌支店時代までの写真と、本山君作成の「せんつうDVD」が投影され、当時を思い出しながら話に花が咲き、懐かしい時間を楽しく過ごしました、あっという間に予定の時間が過ぎて、斉藤健三さんの締めの挨拶で終宴となりました。



レポーター 松尾裕さん

### 中央地区

平成27年12月5日(土)12時より、東京港区のリバーサイドホテルに於いて、「センツウ同窓の集い」がOB、現役合わせて45名の参加を得て開催されました。集合写真の撮影後、司会進行役の鏡さんの指名により、元副社長の山根信義様の乾杯のご発声で開宴となりました。

準備された5つのテーブルでは、アルコールと料理に興じながら、久し振りの再会で、思



出話やら近況報告やら、和やかな語らいで場が盛り上がった頃合い、社友会副会長の崎山様が登壇



され社友会を代表して「センツウ同窓の集い」も第7回目となり、今年には北海道地区と中・四国地区での初開催を含め全国

各地で実施しております。社友会の会員数は現在225名程度であります。今後、益々会員相互の親睦を図っていきたく思っていますのでご協力よろしくお願ひします。」と挨拶がありました。



司会から近況報告などをということでスピーチの指名があり、今年の異動で新潟から首都圏に戻った園田さん、久々に参加の渡辺さん、遠路金沢から参加された戸田さん等々、次々と壇上に登りスピーチが途絶えることなく時間は過ぎていきました。

また、会場では日本船舶通信時代、センツウ時代の懐かしい映像がスクリーンに投影され、



参加者が身を乗り出して見入りながら、一段と話題に花が咲いたように歓談されていました。

こうしている間に、時間が流れて予定時間が迫り中締めとなりました。

中締めはご夫婦で参加された関村夫妻が指名され、恒例の関東一本締めで終宴となりました。



レポーター 濱田治さん



## 九州地区

平成27年12月5日九州支部センツウ同窓の集いがMARRY GOLD 門司迎賓館で開催された。

この会場は元センツウビル、今は結婚式場で営業されているため希望する夕方土曜日の空きは無かったが今年は偶然にも空きがあると云う、センツウゆかりの会場で開催は願ってもなく、ここぞと決め、ブーイングのでそうな値段だけは粘り強く値引き交渉した。

お蔭で那覇・鹿児島・別府・広島・松山それに加え、北九州・福岡を加え27名の出席を得て盛大に開催することができた。

同窓の集いでは毎年、新たな再会がある。今回は那覇から福さん出席して頂いた。何と28年ぶりに同期会が京都であったらしい。この時、九州でセンツウ同窓の集いがあることを知りぜひ出席して、入社当時、お世話になった方々ともお会いしたいと遠路はるばる沖縄から出席いただいた。



聞けば、退職後の進路は幼稚園経営に進み、その必要な知識習得の為、大学に再入学し今では3つの幼稚園を運営している。と近況報告があった。それにしても同期会で沸騰したセンツウの絆というか、昔お世話になった方と旧交を温めようと遠路はるばる、皆に会いに来たことに非常に感激しました。出席にあたって沖縄特産の泡盛(古酒・10年寝かせたもの)2本がお土産として提供され深い味わいの銘酒は瞬く間に空となりました。紙面を借りてお礼申し上げます。

さて、宴会の方はフランス料理で飲み放題となっていて、先の泡盛の出来具合もあって、なかなかの盛り上がりである。メインイベントは「センツウの思い出」サブタイトル「青春に帰ろう」なる、ビデオを制作したものを鑑賞した。これは昭和40年代から60年



代までの青春時代の写真をビデオに編集したもので入社式、各営業所のスナップ写真、親睦会の部活動の様、社内旅行、社員研修時のスナップそして第1回～7回までのセンツウ同窓の集いの集合写真に説明用のテロップを入れてある。画面は写真の複写となる為、若干荒く、鮮明にはいかないが懐かしく青春の頃に帰って頂いた。



ついでに、社友会の入会の勧めもPRしたが反応は鈍い感触で会った。

上映が終わった頃は記念写真に納まる人、酒を酌み交わす人入り乱れて会場は盛り上がりスピーチも誰が言ってるのか関心もなく、なすがままに時間を見て、来年の再会を誓い、山口女史の万歳三唱でお開きとなった。



レポーター 松崎繁行さん

## 27年度秋季ゴルフコンペ開催

### 足助正さん優勝

平成27年10月21日(水)クリアビューCCに於いて恒例の中央地区秋季ゴルフコンペが開催されました。ベストシーズン到来で絶好のゴルフ日和となり気持ちよくプレーすることができました。

今回は3組9名でのコンペとなりました。皆さん毎年1歳ずつ齢を重ねているものの、全員元気よく熱戦が繰り広げられました。

そんな中で足助さんが愛用の13Wを駆使し安定したゴルフを展開してベスグロで優勝、前回優勝の園田さんが準優勝を獲得しました。

参加された方々と入賞された方は次の通りです。

### 「参加者(スタート順・敬称略)」

1組・・・阿部正一・足助正・園田敏雄  
2組・・・林 憲男・加藤恒男・菅原志郎  
3組・・・山形剛士・黒田繁雄・濱田治

### 「入賞された方(敬称略)」

順位	氏名	グロス	ハンディ	ネット・その他
優勝	足助 正	87	14	73 BG他
二位	園田敏雄	91	14	77 DC他
三位	林 憲男	94	12	82 水平賞

### 「優勝された足助正さんの喜びの声」

参加者は以前16名程はおられた頃(平成20年)に較べると数名減でしたが半年ぶりの顔合わせです。ホールが進む程に、同伴者の現役時を彷彿させるショットに感服しながら、何とか18ホールのラウンド終了。一風呂浴びて表彰式場へ。

どんな結果かなど配られた成績表を見ると一番上に！久方ぶりの優勝でした。

加齢とともに腰のキレも悪くなり、体は気持通りに動かなくなりましたが、足・腰に故障が出ない限りはエンジョイしたいなと思っているこの頃です。今の体調に感謝！！



レポーター 濱田治さん

### 【念願のホールインワン達成。。。足助正さん】

それは、昨年(2019年)の3月25日。鎌倉パブリックで行われたルーキーシニア杯大会でした。IN16番(120Y)やや打ち下ろしのショートホールで事は起きました。いい感じの振り抜きショット。打ち出た球の弾道は、グリーンターゲットに向かって真直、そして落下、そしてコロコロと〜。おお、ニアピンになったかなと思

った瞬間、同伴者から“球が消えた”そして“エースじゃ、やったね”の声かけ。当人はまさかの気持ち。思いもよらぬホールインワンにグウタッチをしていました。そして、そのとき思ったのは、あーゴルフ保険に入っていて良かった。使えると！

いろいろ手続きやらがありました。タツプリ恩恵に浴しました。よく言われる事

ですが、ホールインワンは狙って出来るものでなし、然れどターゲットに向かってショットせねば可能性はなし。依

ってショートホールでは、ニアピンをゲットの境地でのティーショットがエースに繋がる道と開眼。あー又恩恵に浴したいと夢見て精進、精進！！



### 自分小史・・・「横浜と東京」

中央 今渡 彰さん

私は昭和六十年八月一日、川崎から横浜市支店へ異動した。成田線新木駅で乗車して、我孫子、上野、東京で東海道線に、横浜から石川町で下車するまで四回の乗り替え。所要時間二時間四十五分、帰りは三時間を超える痛勤？であった。

石川町駅からは、横浜中華街の中を歩いて約十五分の山下町に支店はあった。「そんな長時間の通勤は大変でしょう。横浜には安いアパートがありますよ」と親切に言ってくれる人もおられた。

仙台と三浦市の電波監視センター勤務で五年余も家を空けており、漸く家に戻って一年、そのような気にはなれなかった。折角の紹介ではあったが「通勤は朝も早いので必ず座れます。読みたい本がいくらでも読むことができる、動く書斎ですよ。ハハ……」と負け惜しみを言って断った。

或る日、札幌の瀬川夫妻がフェリーで新潟経由遊びに訪れることになった。船中では到着も近くなったので、船舶公衆電話前にはお客さんが列を作

っていた。瀬川の順番が来て何枚かの百円硬貨を投入して私の職場に連絡、暫く話をし受話器を置いたとたんチャラ、チャラと全部戻ってきた。それを見て次の番のお客が「故障か、されば自分も」という顔をしていたという。瀬川たちは、次のお客の通話をそれとなく観察、通話料は戻ることがなかったの

で故障でないことを確認したと言って笑っていた。昭和六十二年八月三日付、浜松町駅からほど近い東京営業所に異動した。新規業務と称し、当時二十万円を超える価格であったファクスやMCA(マルチ、チャンネル、アクセスシステム)の無線機なども販売の対象としていた。MCAを納入した北千住の某運送業者の社長とは大変仲良しになった。或るとき社長室の後ろの隠し部屋を「特別に」と言

って見せてくれた。そこには大小様々、金色から黒までの五十体もの仏像が並んでいた。「私は、悪いことばかりしているので、毎日仏様に懺悔しているのです」と一寸淋しげに微笑した。

はじめての仕事乍ら、技術畑の方々が熱心に研究され、完全に成し遂げられた。今も強く記憶に残っている。

### \* センツウ社友会第2回役員会開催 \*

開催日： 平成27年10月17日(土) 14:00～

場 所： 島嶼会館 第一会議室

出席者： 9名 (菅原、崎山、大場、松原、浜田、平野、鏡、中野、大和田の各役員)

#### 1. 議 題

- (1)「センツウ同窓の集い」の開催について
- (2)会員の増強策について

#### 2. 議 事

- (1)「センツウ同窓の集い」の開催について  
松原理事から、センツウ同窓の集いについて、中央地区の会員へ通知したいとの提案があり、了承された。

○日時・平成27年12月5日(土)12:00～

○場所・シーサイドホテル 芝弥生

○会場設営・運営

当日の役割

- ①進行係……………鏡給次郎
- ②音響・映像係……本山健勝
- ③録音係……………濱田治
- ④受付係……………中野博幸
- ⑤連絡係……………松原繁弘、鏡給次郎
- ⑥写真係……………濱田治、崎山隆
- ⑦名札係……………大和田輝彦

#### (2) 会員の増強策について

本田会長から、支部の増設と会員の増強策について提案があった。

支部の増設については、該当の地域から具体的な設置要望がないことから、地域の意見集約を待って、再度検討することとした。

また、会員の増強策については、本田会長と調整しながら、同窓の集いに参加している未加入者に対して、支部の役員に入会申込書等の書類を送付し、「同窓の集い」の機会をとらえて入会を働きかけてもらうこととした。

#### お悔やみ

関幸雄 様 平成 27 年 9 月  
享年 81 歳

嘉治本輝敬 様 平成 27 年 10 月  
享年 68 歳

謹んでご冥福をお祈りいたします

#### \*\* センツウ社友会ホームページ \*\*

センツウ社友会HPのURLをご案内します。  
会員のコミュニケーションの場としてご活用ください。

<http://homepage3.nifty.com/sentu/top.html>

(PWは不要です。直接アクセスしてください。)

年金基金の解散に伴う分配金の配分見込額の通知があり、関心を持っておられると思いますが、年金基金に対する聞き取り調査の結果を、社友会HPに会報号外として掲載中